

## 箕面市の景観についての事業所アンケート結果

『箕面市都市景観基本計画（素案）』の策定にあたって、事業者を対象に景観の現状や問題点、今後に向けた取り組みへの意見をうかがうアンケート調査を行い、計画の検討に反映を行いました。

### 事業所アンケート概要

現在市で取り組んでいる景観施策について、認知度と評価を把握するとともに、事業者による建物や広告物のデザイン上の配慮といった景観づくりの取り組み姿勢や、活動に対する取り組み状況をうかがいました。

調査対象：市内で事業活動をされている事業所 500 社  
（規模に偏りがないように従業員数別に抽出）

調査方法：郵送配布・郵送回収（督促無し）

調査期間：平成 18 年（2006 年）7 月 31 日（月）～8 月 11 日（金）

回収率：26.2%（131 通）

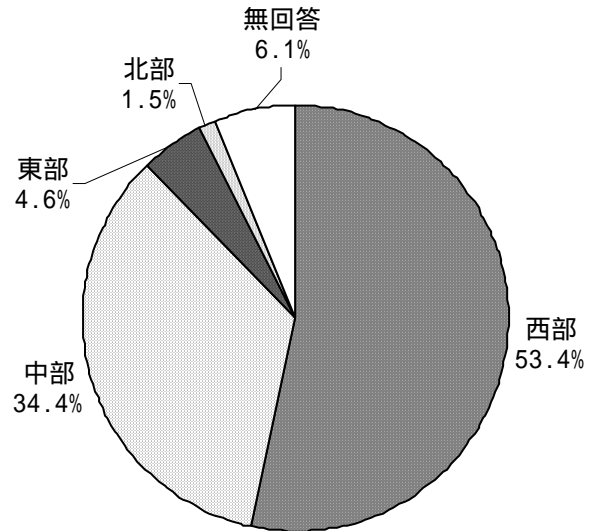
調査項目：事業所の概要について  
景観づくりの取り組みの必要性と理由について  
市の景観施策について  
地域の景観づくりの取り組みについて  
その他（自由回答）

## 事業所アンケート結果

### 1. 事業所の概要

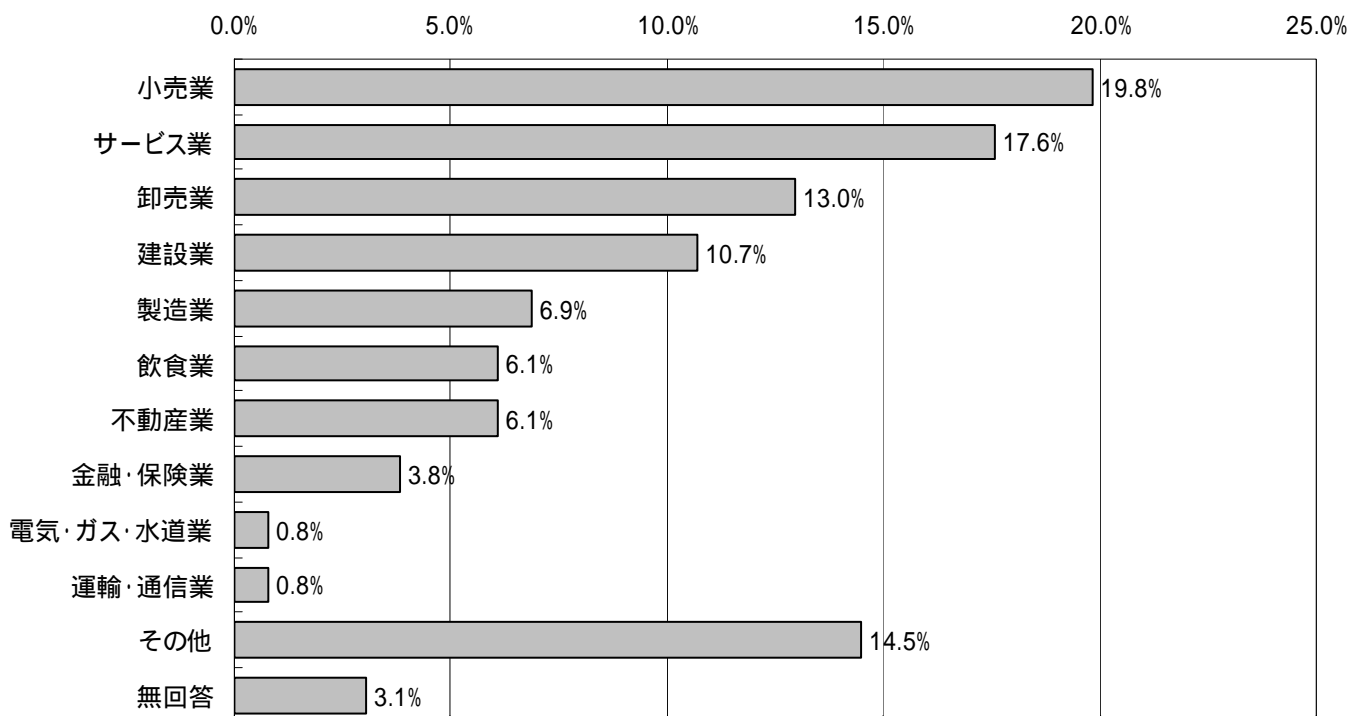
#### (1) 所在地

- ・53.4%が市の「西部」に所在しています。  
次いで「中部」が34.4%、「東部」が4.6%、「北部」は1.5%となっています。



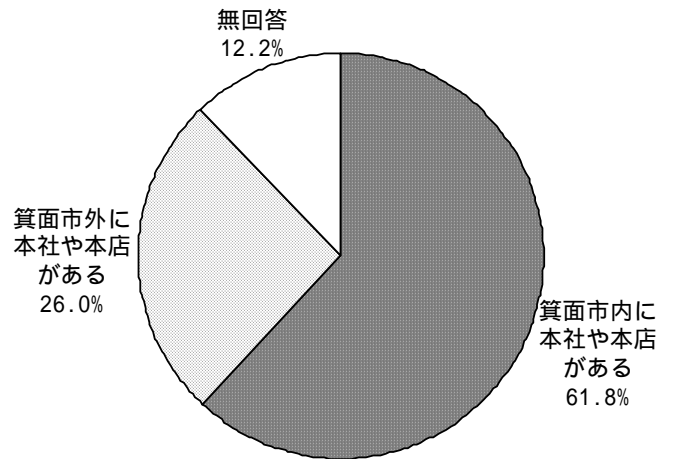
#### (2) 業種（複数回答）

- ・小売業が最も多く19.8%、次いでサービス業が17.6%、卸売業が13.0%となっており、これら3つの業種が全体の約5割を占めています。
- ・従業員数が10人未満の事業所ではサービス業が占める割合が最も多く2割を超えています。従業員数が100人以上の事業所では卸売業の割合が最も多く、22.9%を占めています。



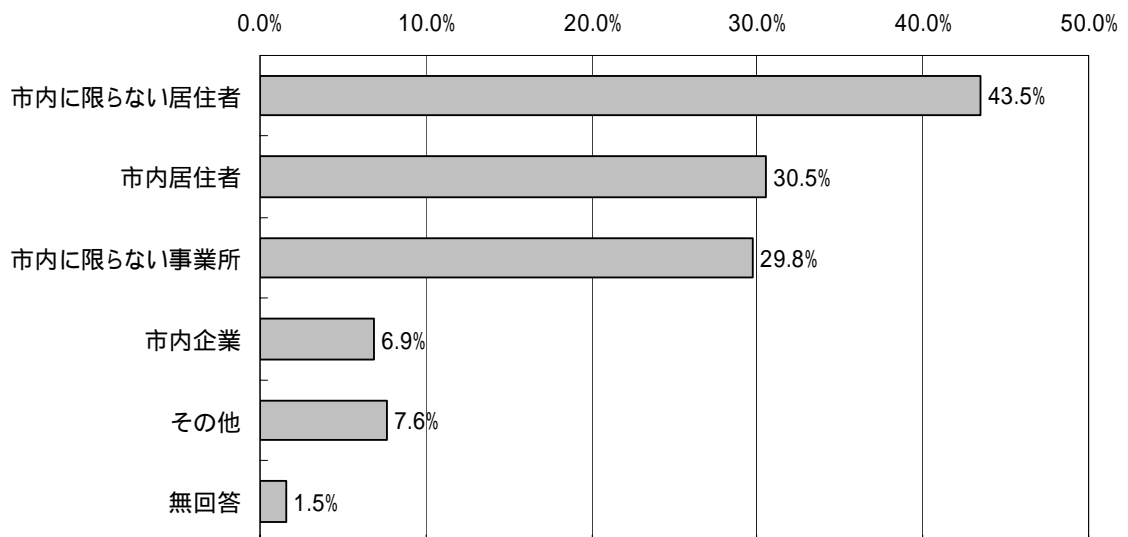
(3) 本社・本店の位置

- ・ 61.8%が「箕面市内に本社や本店がある」と回答しています。



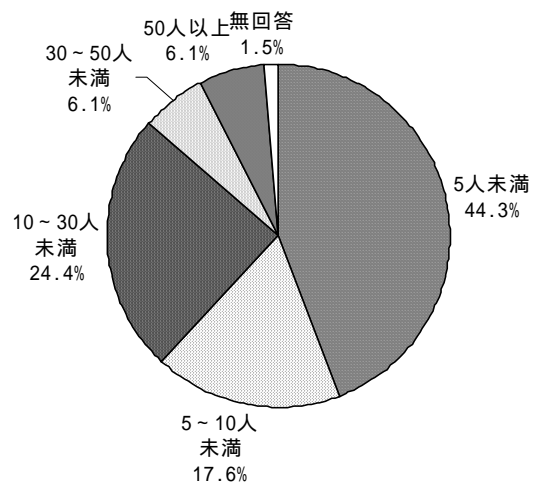
(4) 主な顧客層（複数回答）

- ・ 「市内に限らない居住者」が最も多く 43.5%を占めています。次いで、「市内居住者」が 30.5%、「市内に限らない事業所」が 29.8%、「市内企業」が 6.9%となっています。



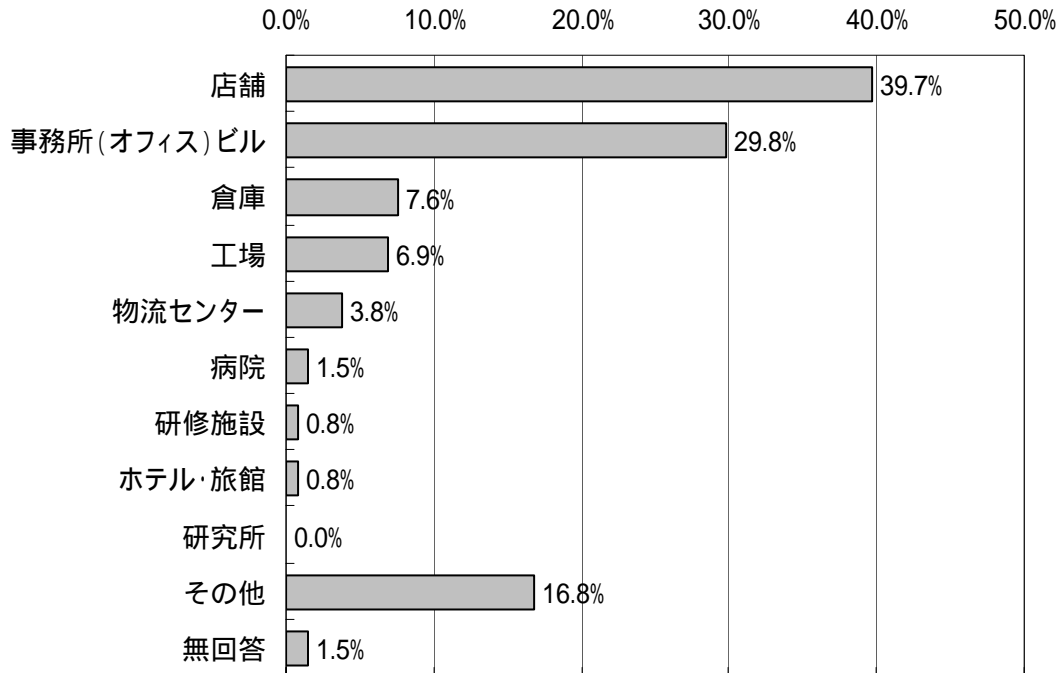
(5) 従業者数

- ・ 「5人未満」の事業所の占める割合が 44.3%と最も高くなっています。次いで「10～30人未満」が 24.4%、「5～10人未満」が 18%となっています。



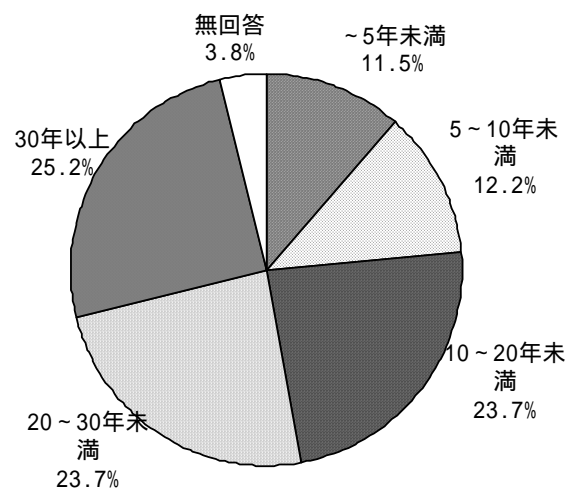
( 6 ) 建物形態 ( 複数回答 )

- ・ 39.7%が店舗であると回答しています。次いで 29.8%が事務所( オフィスビル ) であり、これらのまちなみによって主に商業地の景観が構成されていると考えられます。



( 7 ) 現在地での営業年数

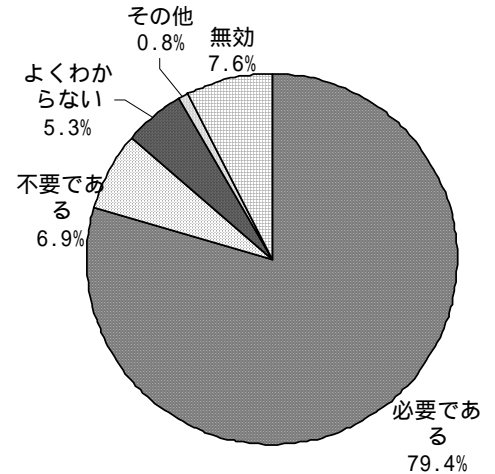
- ・ 30年以上が最も多く 25.2%、次いで 10~20年未満および 20~30年未満がともに 23.7%を占めています。



## 2. 景観づくりの取り組みの必要性と理由について

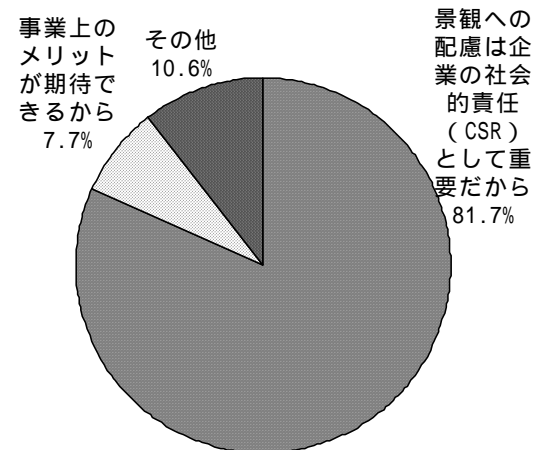
### (1) 事業者が良好な景観づくりに取り組むことの必要性

- ・ 79.4%が「必要である」と回答しています。
- ・ 事業所の規模別に見ても、5人未満では72.4%、5～10人未満では87.0%、10人以上では85.4%が「必要である」と答えており、規模が大きくなるほど景観への意識が高いといえます。



### (2) 景観づくりに取り組むことが必要な理由

- ・ 「景観への配慮は企業の社会的責任(CSR)として重要だから」という回答が81.7%を占めています。
- ・ 規模別が大きくなるほど、「景観への配慮は企業の社会的責任(CSR)として重要だから」という理由の占める割合が高くなります(5人未満の53.4%、5～10人未満の65.2%、10人以上の79.2%)



\* CSR Corporate Social Responsibilityの略  
企業の社会的責任と訳されます。

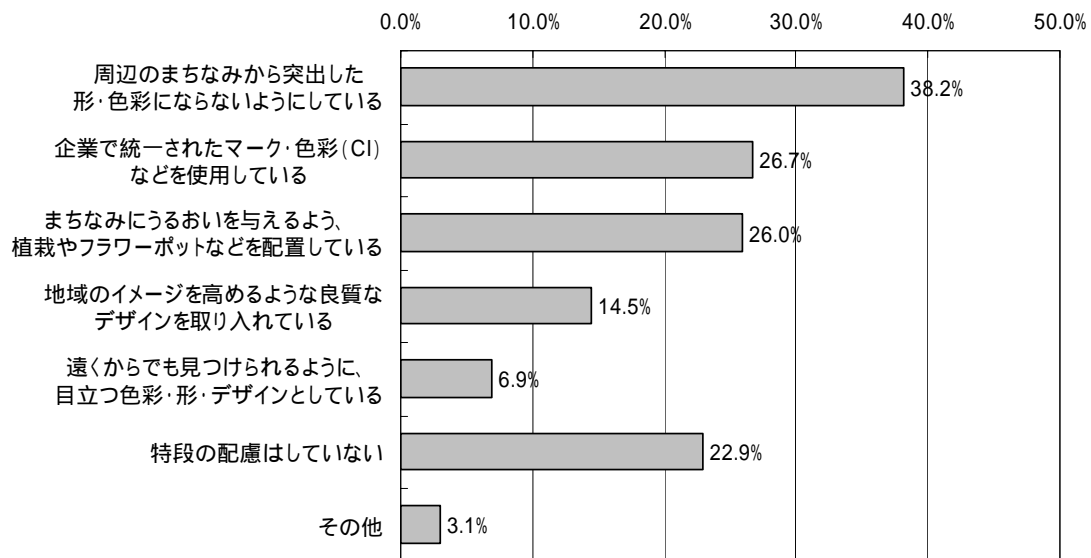
### (3) 景観づくりに取り組むことが不要な理由

- ・ 回答数が9件と少ないのですが、「事実上のメリットが期待できないから」、「具体的にできることが見当たらないから」、「景観に配慮することについて取り組む意義や必要性を感じないから」など、回答が全ての選択肢にまたがっており、不要と感じる理由は事業所により異なっています。

### 3. 建築物や広告物の設置について

#### (1) 建築物や広告物の設置についての考え(複数回答)

- ・ 約4割が「周辺のまちなみから突出した形・色彩にならないようにしている」と回答しています。
- ・ 小規模な事業所では「周辺のまちなみから突出した形・色彩にならないようにしている」という答えが50%を占めています。また、従業員10人以上の事業所の約半数が、「企業で統一されたマーク・色彩(CI)などを使用している」と回答しています。



\* CI Corporate Identityの略

企業が持つ特徴や理念を体系的に整理し、簡素に表現したもの。

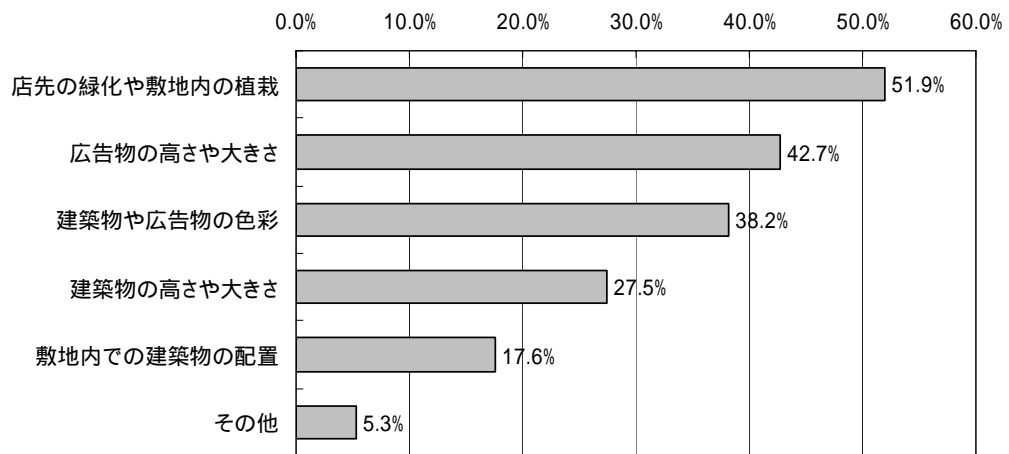
ブランド名、ロゴマークやキッチコピー

組織を象徴する色はコーポレートカラー(Corporate Color)

と言う。

(2) 良好なまちなみを形成するために行っている配慮(複数回答)

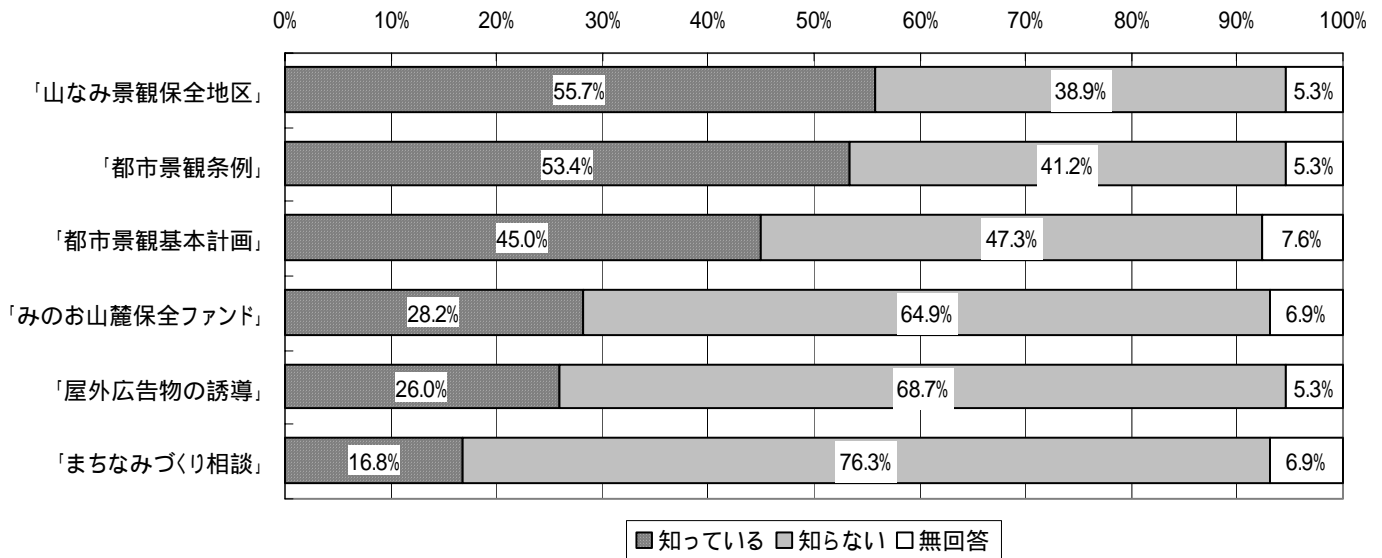
- ・ 地域のまちなみを形成していく上で事業所として配慮すべきだと考える要素については、店先の緑化や植栽などまちなみにうるおいを与える取り組みや、広告物の高さや大きさへの配慮が多く挙げられています。



#### 4. 市の景観施策について

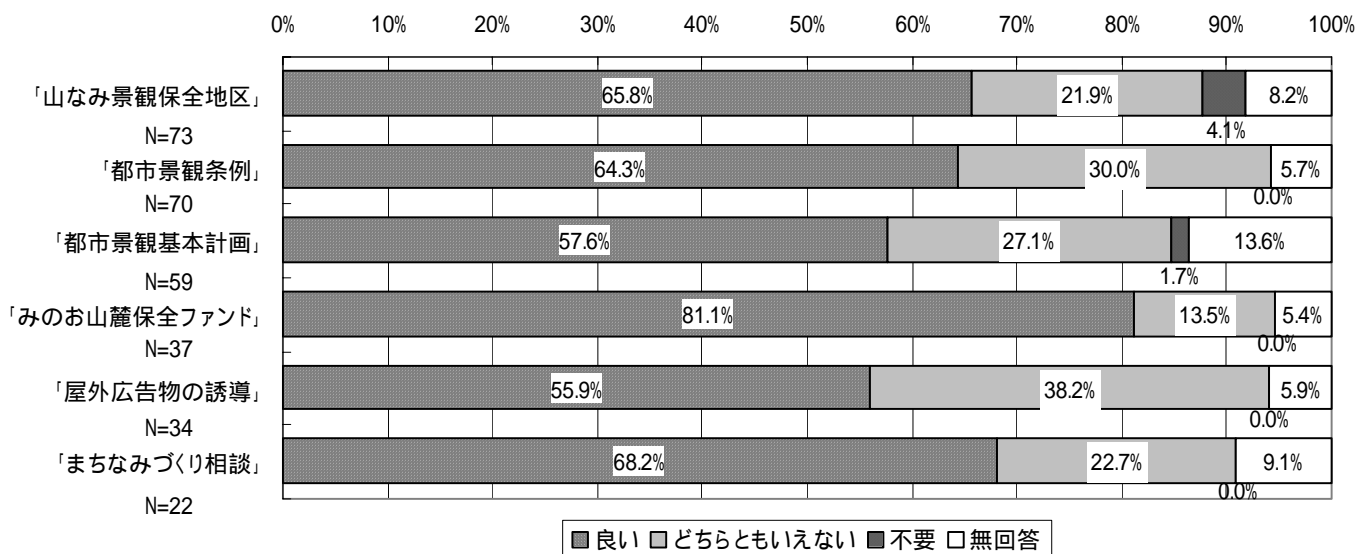
##### (1) 市の景観の取り組みの認知度

- ・ 「都市景観基本計画」や「都市景観条例」など骨格となる枠組みや規制誘導については約半数の認知度であり、「屋外広告物の誘導」や「まちなみづくり相談」、「みのお山麓保全ファンド」など創造的に景観を向上させていくための取り組みはほとんど知られていません。



##### (2) 市の景観の取り組みの評価

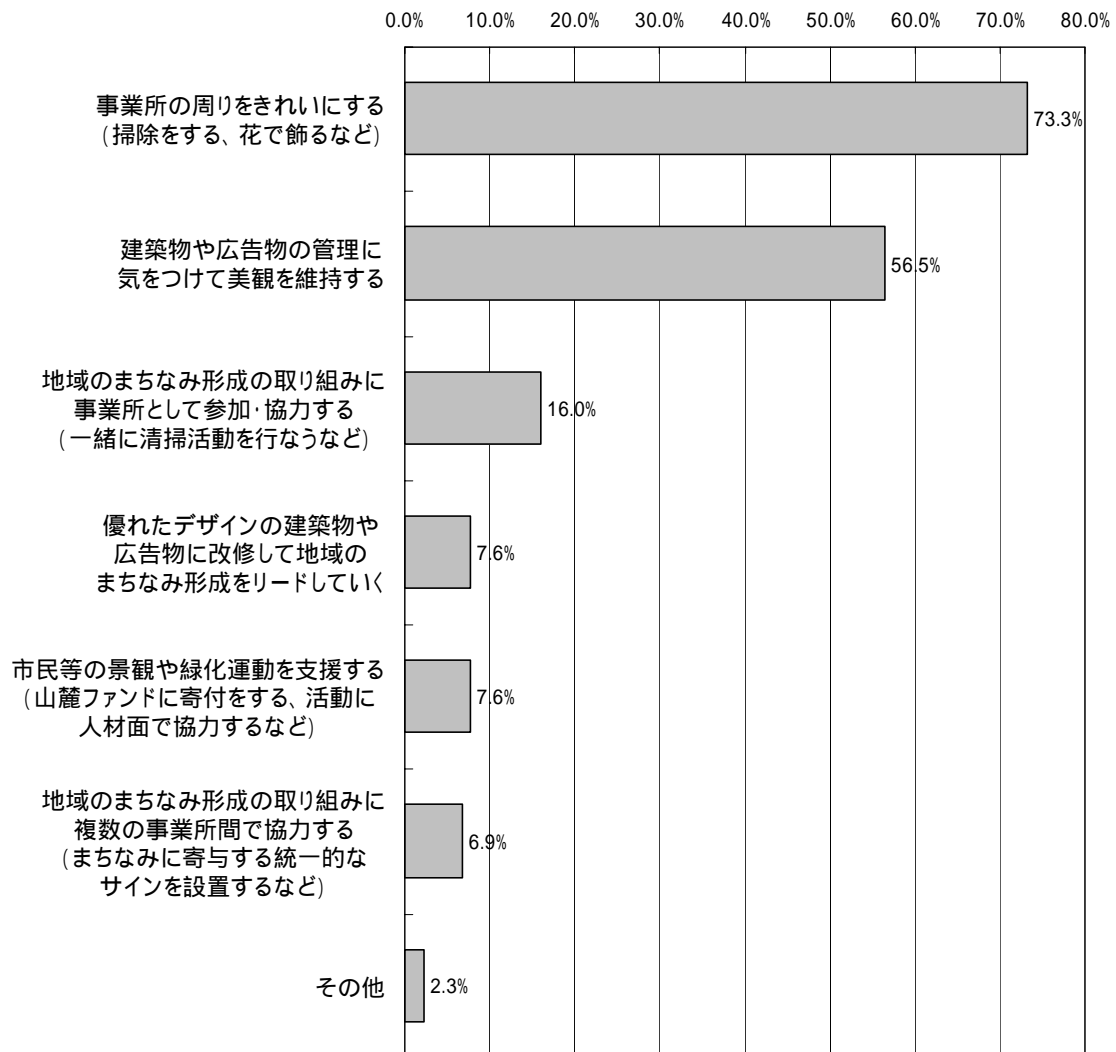
- ・ (1)において「知っている」と回答した事業所の評価は以下の通りです。
- ・ 特に「みのお山麓保全ファンド」については知っている事業所の8割が良い評価を与えています。逆に「都市景観基本計画」、「屋外広告物の誘導」については「良い」と答えた割合はやや少なくなっています。





5. 今後の景観づくりの取り組みについて（複数回答）

- ・ 今後、取り組みたいものとして「事業所の周りをきれいにする」(73.3%)および「建築物や広告物の管理に気をつけて美観を維持する」(56.5%)に回答が集中しています。
- ・ 市民アンケートと同様に、個々の事業所での美化・緑化などの意識は高いものの、積極的に景観形成に取り組んだり、地域や他の事業所と取り組んだりといった協働・連携の取り組みはまだ実践されていない実情がうかがえます。



## 6. 自由回答

- ・ その他、箕面市の景観に対する提案等を自由記述でうかがったところ、景観に関連する意見として主に以下のようなものが出されました。

### 美しい自然の保全

箕面市の特徴的な自然（山なみ、川、滝など）は保全し、今後とも大切にしていけるべき、という意見が多く挙げられました。

- ・ 箕面市の美しい山なみの保全、自然と調和のとれたまちなみの保全を。
- ・ 山麓の緑を守り、景観のいいまちづくりを。
- ・ 深山で自然の動物にであえる「箕面」であることに誇りを感じます。これ以上に今ある自然の形状を変えないようにしたい。

### 建築物や広告物などの基準や統一に関する提案

建築物や広告物などの色彩を統一することについての提案・要望が出されました。

- ・ 建築物や広告物の色彩に関して統一的に考えた方が良いのではないのでしょうか。
- ・ 出来れば建築物の色彩の統一も要望したいところです。
- ・ 「何か良いな！」と感じられる（心理的に）緑化、色彩をともなう新しいまちづくりを早急に進めて頂きたい。

### 近隣のまちの美化向上など

沿道やまちなかの美化と関連した景観の問題を挙げた意見がありました。特に、近隣の美化、清掃に取り組まれる中で状況が悪化していることを懸念する声がありました。

- ・ バス停を含め周辺の清掃を定期的を実施していますが、ポイ捨ての多さはまちの美観をそこないます。根比べとは思いますが。
- ・ 当社としては例年河川清掃や道路清掃を2~3回行なっています。又事業所前の道路と公園の清掃も通年作業として行なっております。しかしながら、近年のゴミの多さには皆が驚いています。如何すべきかと案じています。
- ・ コンビニ駐車場のゴミ箱にゴミが散乱していると当然汚く見えます。逆に清潔に保たれているとよりまちとして整備されているように感じますので、外のゴミ箱、周辺の美化ができたと思います。

### 景観を考える上での視点

見た目に美しいだけでなく、住みよいまちづくりから景観を考えるとといったような提案もありました。

- ・ 今の状態では市外から見た感じ（印象）に重きを置いている気がする。市外より市民が大事である。
- ・ 自然とふれ合う場所においても弱者（子供、お年寄り）にやさしい配慮に重点を置いた政策にするべきではないかと考えています。